

CPCリブレ No.17

エコする〈知〉

2020年の大学危機

—コロナ危機が問うもの—

光本 滋

コロナ危機の中、大学の在り方を問う!!
大学の現状から見えて来るものは何か。オンライン、
対面授業や教育費負担の問題に鋭く斬り込む。
大学問題のエキスパートが解説した好著。

クロスカルチャー出版

ISBN978-4-908823-85-5

C0037 ¥2200E

定価(本体2000円+税)



本書は、『危機に立つ国立大学』(2015年、小社刊)の続編です。「大学の危機」を生み出す本質的な問題を明らかにするとともに危機打開の方向と展望を明確にすることが続編のめざす内容です。

—本書あとがきより

はじめに 第1章 2020年の大学危機—COVID-19/パンデミック下の大学—(1)2020年のコロナ危機 COVID-19/パンデミック 緊急事態宣言 経済対策へのシフトと感染の再拡大 2年目に入ったコロナ危機 (2)COVID-19/パンデミック下の大学 一変した大学の状況 2020年の北海道大学 うすまく批判 問われる大学のあり方 第2章 オンライン授業の光と影 (1)オンライン授業の一斉導入 授業の大半がオンライン化 障害の克服 (2)オンライン授業のインパクト オンライン授業のメリット オンライン授業の問題点 学生アンケート調査 学生の心身、生活への影響 オンライン授業に対する評価 オンライン授業がもたらしたもの (3)対面授業再開をめぐる対立 文部科学省の方針転換 対面授業再開運動 対面授業をめぐる対立が示すもの 学生の信頼を得た大学 対立を超える論理 第3章 深刻化する教育費負担 (1)学生の困窮 学生団体の調査・緊急提言 各種調査が示す学生の困窮 (2)学費減額要求と政府・大学の対応 政府の対応 各大学の対応 問われる「授業料」 経済支援に関する大学間格差 (3)学費減額運動が示すもの 学費減額運動のインパクト 学費減額運動の特徴 要求運動の展開 韓国における学費返還運動 学費減額運動の課題 第4章 コロナ危機と大学政策・大学改革 (1)感染症対策の課題 入試・行事における対策 施設の改修 (2)大学の教育方法 大学設置基準の解釈変更 潜在問題 総務省による「不当な支配」(3)危機便乗型「改革」[9月入学]が招いた混乱 高校生の入試制度要求 対面授業再開の推奨「大学ニューノーマル」危機便乗型「改革」の問題 第5章 ポスト・コロナの大学像 学習権と教育 学生の学習権 大学の目的の意義 COVID-19/パンデミック収束のために おわりに 資料1 コロナ危機に関するアンケート調査一覧 資料2 年表 資料3 文部科学省通知・事務連絡等一覧

エコする〈知〉

2020年の大学危機 —コロナ危機が問うもの—

光本 滋

CPCリブレ 17

